

エコボラ通信

6月号
2022.6.20

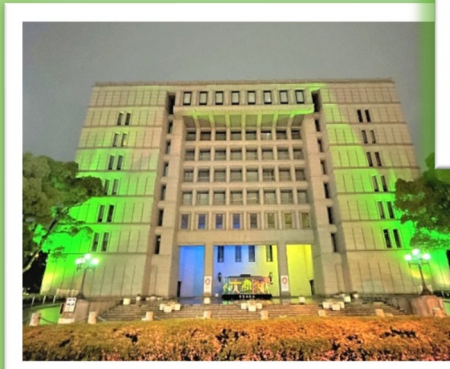
環境月間

大阪市環境局からのお知らせ

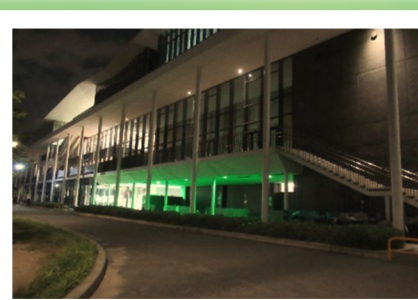
6月1日より環境月間が始まりました。大阪市は6月5日の環境の日に、大阪市役所本庁舎と城東区役所において「環境の日グリーンライトアップキャンペーン」を行いました。当日は雨天の中、緑に照らされた庁舎を見上げたり、写真を撮ったりしている方がおられました。

城東区役所は環境月間である6月末までのライトアップを予定しています。

また、「環境の日グリーンライトアップキャンペーン」は全国規模で行われ、各地のランドマークのライトアップされた様子が見られます。これらの様子は、各SNSのハッシュタグ「#環境の日はグリーン」で確認できます。



【大阪市役所本庁舎】



【城東区役所】



2022大阪市環境フォトコンテスト 作品募集中!

6月の環境月間に合わせ、環境フォトコンテストを実施しています。

- ①SDGsの17ゴールから1つをテーマとして写真を撮影。
- ②ハッシュタグ「#大阪市内のSDGs(環境)〇〇」と説明文を入力し、Instagram(インスタグラム)で投稿。

※〇〇にはSDGsの17ゴールのうち、テーマとする数字を入力ください。

投稿方法

豪華景品あります!



【応募締切】
8月31日(水)



← 詳しくは、コチラ

6月7日(火) 晴天

イオンモール鶴見緑地で鶴見区役所と協働で燃料電池自動車(FCV)の環境啓発活動を行いました。当日は夏日の中、車に興味のある方や水素での発電方法を熱心に聴く方など、お買い物途中に足を止めていただくことができました。

今後も各区役所と連携し、啓発に努めていきます。



エコボラ活動報告【がいの日】

5月21日(土):虫の日



今回は「ダンゴムシ」の生態について、皆さんに学んでもらいました。まずはスライドで説明を聞き、その後はダンゴムシ探し!ダンゴムシは交替性転向反応という、ジグザク歩行をする習性をもっており、迷路を使って検証をしました。



すごい! 見事GOALできました!!



皆さん納得の様子でした。

5月28日(土):草木の日

今回は、テーマを『種子散布』とし、アメリカフウロをはじめ、オッタチカタバミやカラスノエンドウなど数種類の種子の散布を皆さんに見てもらいました。

観察中、準絶滅危惧種のカワヂシャの傍に、なんと特定外来種のオオカワヂシャを見つけました!参加者に抜いてもらうようお願いをしました。



【カワヂシャ】

後半は稲わらで亀を作りました。稲で亀の甲羅の部分を編みましたが、簡単なようではなかなか難しい作業でした。



【オッタチカタバミ】



6月11日(土):鳥の日

ダンゴムシは身近な生き物なので、噛まない・親しみやすいなど親子で楽しむことができました。

朝から雨が降りそうななか、たくさんの方が参加してくれました。まずは双眼鏡のピント合わせから始め、いざ出発です。さっそくスズメが換気口の中に巣を作っているところを発見しました。枝などをくわえ、細い隙間に上手に入っていました。

途中、ムクドリだらけのエリアがあり、皆さんビックリされていました!また、幼鳥が親鳥にくっついてエサをもらっている姿も見ることができ、微笑ましかったです。

最後に全員で鳥合わせです。今回は16種類の鳥を見つけることができました。



【帽子に鳥が!】



【巣作り中のスズメ】



自然体験観察園講座

綿講座【1回目】しました



自分が紡いだ糸で、ナニ作る!?

【エコボラさんの感想】

- すべての作業が、スタッフ・参加者ともに初めての方が多かったが、子どもたちを含めよくできたと思います。
- 初めての体験で補助にならなかったと思うが、良い勉強になりました。
- 子どもがいきいきとカーダーや弓で綿打ちを熱心に行っていたのが印象に残っています。

【参加者の感想】

- 普段着る洋服の素材を天然のものにし、石油系のものを減らしたいと思いました。
- 綿の種を植えてみたい。
- 講師の先生をはじめ、スタッフの皆さんの熱意を感じました。
- 知らないことばかりで、勉強になりました。

エコボラ会議・エコボラ研修

6月4日（土曜日）に、エコボラ会議をエコボラ研修として「京エコロジーさんとの交流会」を実施しました。場所は、花博記念ホール及び自然体験観察園、そしてなにわECOスクエアです。



はじめに、公益財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会 で企画事業部長兼総務審議役をされています三谷彰一様からご挨拶をいただきました。「花博自然環境助成」について紹介されました。8月から来年度分の募集が始まるそうです。



次に、京都市にある京（みやこ）エコロジーでエコメイトをされている田中様からボランティアさんを代表してご挨拶をいただきました。京都では、若いエコボランティアの方が非常に多いそうです。



そして、我大阪市からは、大阪市エコボランティアを代表して、榎元さんから「自然体験観察園 生き物いっぱいの環境教育施設」と題して、自然体験観察園におけるエコボラさんたちの維持管理作業について、その活動のねらいと現状の報告がありました。

自然体験観察園は里山を模した環境教育施設です

棚田や畑があり、稲や野菜が育てられています
田植えや稲刈り、作物の収穫などが行われます

しかし、これらの栽培は**収穫を目的としていません**
また、**栽培技術を学ぶ、体験することも目的ではありません**

自然体験観察園は全体がビオトープ
「生き物たちのすみか」です

ここは、訪れる生き物たちのすみかとなっていて、
その**生き物たちを観察し、生物多様性を学ぶ場**です
また**気候変動や循環型社会を学ぶ場**でもあります

Keiko 2

大阪市生物多様性戦略

令和3年3月策定版

《2050年の大阪市の「めざすまちの姿」》

新たな価値の創造に向けた自然の持つ力の活用・情報発信の取組みと、生産・消費を通じた社会の変革に向けた取組みを、市民・環境 NGO/NPO・事業者・研究機関・教育機関・行政などの参加と協働のもとで進め、「生物多様性の恵みを感じるまち」をめざします。



大阪市生物多様性戦略



「自然体験観察園」は「大阪市生物多様性戦略」の生物多様性関連施設として位置づけられています。

<https://www.city.osaka.lg.jp/ankyo/page/0000067896.html>

Keiko 3

生物多様性を学ぶ場としての「自然体験観察園」



本で紹介するエリア

- ▶ 野草広場
- ▶ 実生林・雑木林
- ▶ 畑「伝統野菜」
- ▶ 畑「タデアイ」
- ▶ 蓮田
- ▶ 水田
- ▶ 湿地（再生中）

【環境教育、学習の振興等に係る業務委託公募型プロポーザル】により選定
令和3年度委託事業者：環境事業協会・ネイチャーおおさか共同企業体

Keiko 4

3

自然体験観察園：生き物たちのために

コンセプト

環境学習の場としての、自然体験観察園

他施設ではやっていない = 「環境」オリジナリティ
エコボランティアによる企画・実践

都会ではできない農事体験
収穫のよさを体感
こどもたちが楽しめる行事

生物多様性の学習
自然の中での循環を学ぶ
生態系サービスとは何か

この程度にとどまらない

体験を通じて環境学習

Keiko 5

その後、参加者を3グループに分けて、グループごとに施設見学を行いました。各見学場所では大阪市エコボランティアさんがその場所の維持管理作業について説明しました。



花博記念ホールにもどり、6つのグループに分かれて、交流会を持ちました。

自己紹介から始まり、本日の見学で得たこと及びそれを今後のお互いの活動にどう活かしていくかについて話し合いました。

最後に、参加者全員で記念写真をとり、また会えることを願いつつ会を終わりました。

参加者の方の感想の一部をご紹介します。

- ・大阪市施設は、広いフィールドがあり維持管理が大変と思いますが、うらやましいです。
- ・大阪と京都との違いを話しあいました。大阪では、親子連れが駆け回っていて、京都ではありません。交流を続けることで、京都で何ができるかを探っていければと思いました。
- ・話が盛り上がりすぎました。京都の施設で田んぼや畑は屋上だけなので、土地を借りてやってはどうかとの意見も出ました。
- ・施設やフィールドに違いがあるが、目指す目的は同じと思うので、相互交流を引き続き図っていきたい。

今回のエコボラ会議は、令和4年7月2日(土)13:30からです。



Zoom

ミーティングID: 974 3297 8605

パスコード : 106254

ボランティア活動への参加及び、エコボラ会議にご出席される方は、
ecobora@naniwa-ecostyle.net まで。



エコボラ通信 2022年6月号

発行 大阪市環境局

編集 環境事業協会・ネイチャーおおさか共同企業体

HP <https://naniwa-ecostyle.net/>

お問い合わせ

なにわECOスクエア(9時~17時半)

〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園2-135

☎ 06-6915-5820 📠 06-6915-5824

✉ ecobora@naniwa-ecostyle.net